

本リリースは、米国 Workday Inc.が 2018 年 11 月 14 日(現地時間)に配信した英文リリースに基づき作成した日本語抄訳です。その内容および解釈については、英文が優先されます。



報道関係各位

2018 年 11 月 21 日
ワークデイ株式会社

Workday のお客様が Amazon Web Services 版の使用を開始

Fresche Solutions と Twitch を含む Workday のお客様が AWS 版 Workday アプリケーションを導入

【2018 年 11 月 14 日ーカリフォルニア州プレザントンおよびウィーン(GLOBE NEWSWIRE)WORKDAY RISING EUROPE 発】 企業向け[財務・人事](#)アプリケーションプロバイダ大手の[ワークデイ株式会社](#) (本社 米国 Workday Inc., NASDAQ:WDAY、以下 Workday) は本日、[Fresche Solutions](#) と [Twitch](#) を含む北米地域のお客様が、[Amazon Web Services, Inc.](#) (AWS) 版 Workday アプリケーションの使用を開始したことを発表しました。

Workday のお客様が、Workday Financial Management や Workday Human Capital Management などの Workday アプリケーションをパブリッククラウドで展開するのは、今回が初めてとなります。AWS 版 Workday アプリケーションは、現時点では米国とカナダのお客様を対象に提供されており、2019 年前半にはドイツでもサービスを開始する予定です。その他の地域についても、需要の状況をみながら適切なタイミングで提供の拡大を図る計画です。

AWS 版 Workday アプリケーションの利用によって得られるメリット

- より広い選択肢: 変化が激しい現代のビジネス情勢において、お客様がミッションクリティカルなアプリケーションを導入し事業を成長させるためには、より広い選択肢を持つ必要があります。Workday のお客様に対するコミットメントの 1 つとして(顧客満足度 98%という評価が示すとおり)、AWS 版 Workday は、Workday アプリケーションを実行する方法や場所(AWS または Workday データセンター)をより自由に選択できます。
- ダウンタイムゼロ: ビジネスに必要な時にいつでも計画、実行、分析を行えるように、Workday はダウンタイムを発生させずに、週次でサービスアップデートを行うことに重点を置いています。Workday のデータセンターでは、コードラインを 1 本に統一し、Workday アプリケーションを常に起動している状態にすることで不具合を最小限に抑えています。お客様は、ゼロダウンタイムを目指して構築された AWS クラウドの機能を 2019 年前半から利用できるようになります。
- 柔軟性の向上: 世界各地のお客様は、データの保存、アクセス、管理場所について、さまざまな要件を抱えています。AWS 版の Workday は、お客様のそうしたビジネスデータ要件に準拠しながら、業務レベルのセキュリティ、拡張性、パフォーマンスを維持することができます。また、AWS 版の Workday を利用することで、AWS で既に別の本番ワークロードやアプリケーションを展開している多くのお客様のテクノロジー環境はさらに整理されます。

関係者のコメント

Workday のテクノロジー開発担当シニアバイスプレジデントであるデヴィッド・クラーク(David Clarke)は、次のように述べています。「AWS 版 Workday によって、お客様は自社独自のイノベーションをさらに加速でき、ビジネスの管理や成長を促すことができます。Workday は、AWS 版と Workday データセンター版のお客様を含め、すべてのお客様のために、長期的に、規模の拡大、高い可用性、柔軟性、そして優れたクラウド型 ERP プラットフォームを実現できるように全力を尽くします」

Amazon Web Services, Inc.の AWS プラットフォーム担当バイスプレジデントであるカート・クフェルド(Kurt Kufeld)氏は、次のように述べています。「Workday と AWS は、10 年以上に渡り、強力な関係を築いてきました。両者共通のお客様の中には、世界有数の革新的企業も含まれています。Workday のアプリケーションが AWS で展開されたことは、世界中の組織が AWS の全機能、信頼性、パフォーマンスを享受できるようにするという弊社のミッションにとって素晴らしい出来事です」

Fresche Solutions の最高財務責任者であるパトリック・ティボー(Patrick Thibault)氏は、次のように述べています。「AWS 版の Workday は、人を最も重視しながら、現代型のコンピューティングやテクノロジーで、業務プロセスの改善や顧客向けアプリケーション開発をする弊社に適しています。Fresche は、カナダ初の AWS 版 Workday ユーザー企業の 1 社として、このクラウド型 ERP プラットフォームで、組織の経営や顧客サポートを向上させます」

追加情報

AWS 版 Workday に関する詳細や質問については、現地担当者までお問い合わせいただくか、www.workday.com (英文ページ)または <https://aws.amazon.com/about-aws/global-infrastructure/> (英文ページ)をご覧ください。

Workday, Inc. (米国ワークデイ)について

米国ワークデイはクラウド型**財務・人事**用エンタープライズ アプリケーションプロバイダです。2005 年に設立された米国ワークデイは、世界最大規模の企業、教育機関、官公庁などの組織で使用されることを念頭に設計されたヒューマンキャピタルマネジメント(HCM)、ファイナンシャルマネジメント、および分析用アプリケーションを提供しており、中規模企業からフォーチュン 50 社にランクインする大企業まで幅広い組織が導入しています。

米国ワークデイ(英語): <http://www.workday.com/>

ワークデイ(日本語): <http://www.workday.com/jp/>

将来の見通しに関する記述について

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。とりわけ、予測された業績や Workday 製品の利益に関する記述もこれに該当します。「信じる」、「可能性がある」、「つもりである」、「予定している」、「期待する」などの文言や同様の表現は、将来見通しに関する記述を示しています。これらの将来見通しに関する記述は、リスク、不確定要素、仮定的見通しの対象となります。リスクが実際に発生した場合、また予測が誤りであると証明された場合、将来見通しに関する記述で黙示的に示された業績は、Workday の実際の業績と著しく異なる可能性があります。リスクには、これに限りませんが、米国証券取引委員会(SEC)への提出書類に記載されたリスクが含まれており、2018 年 7 月 31 日を末日とする Form 10-Q(四半期報告書)、今後適宜提出する報告書が該当し、実際の業績が予測と異なる場合があります。Workday は本リリースを公表した後、そのような将来見通しに関する記述の更新する義務を負いません。また現在更新する意図もありません。本書類、また Workday のウェブサイトやプレスリリース、パブリックステートメントに記載された、未リリースで現在利用不可能なサービス、特徴、機能、向上についての説明は、今後 Workday により予告無く変更される可能性があり、計画どおりに提供されない、または提供されない場合があります。Workday のサービス購入を検討されるお客様は、現在利用可能なサービス、特徴、機能に基づいて購入をご判断ください。

© 2018. Workday, Inc. All rights reserved. Workday と Workday のロゴは、Workday, Inc. の登録商標です。